

弊社SRI業務に関して、新聞紙上において以下のように紹介されております。

2006年4月13日（木）日本経済新聞 7面

尾瀬の自然保護支援投信を設定 興銀第一ライフ

興銀第一ライフ・アセットマネジメントは十二日、尾瀬の自然保護を支援する株式投資信託を設定すると発表した。群馬銀行、第四銀行、東邦銀行の窓口で五月一日から販売する。購入者が毎年払う信託報酬を販売額の一・四一七五％に設定、信託報酬の〇・二％相当額を財団法人、尾瀬保護財団へ寄付する。約半分を外国債券で残りを国内株式で運用する。

2006年4月13日（木）日本金融新聞 4面

「尾瀬の自然保護」投信発売 群馬銀など3行

群馬銀行、第四銀行、東邦銀行は、信託報酬の一部を尾瀬地域の自然環境保護に役立てる投資信託を発売する。群馬、新潟、福島之三県を中心に構成する尾瀬保護財団に投信残高の〇・一％を寄付するほか、企業の社会的責任（CSR）への取り組みに力を入れる企業の株式を運用に組み込むのが特徴。投信への関心を広げるとともに、地元貢献を進める。発売するのは「自然環境保護ファンド（尾瀬紀行）」で、興銀第一ライフ・アセットマネジメント（東京・千代田）に運用を委託する。当初募集期間は五月一二十五日で、信託期間は原則無期限とする。ファンドに組み入れる日本株はCSRに詳しい調査会社のインテグレックス（東京・渋谷）の助言を受ける。残りの半分は高格付けの資源国の債権を組み入れる。原則奇数月の五日の決算日に収益分配を行う。「偶数月に支給される公的年金と合わせて、環境保護に関心が高い高齢者層にもアピールする狙い」（群馬銀個人部）という。購入者は分配金を自動的に再投資するプランも選択できる。尾瀬保護財団は一九九五年設立。三県で環境保護について話し合う「尾瀬サミット」を毎年開催するほか、入山者への啓発活動や植生復元に取り組んでいる。